

くらしの目線で市政を変える

発行：2013年8月25日  
連絡先：日本共産党伏見地区委員会  
TEL(611)9135 fax(602)9117



# 焼却灰溶融からの完全撤退を求める 『市民の会』が申し入れ



京都市に計画からの撤退を迫りました!!

京都市が「焼却灰溶融施設の期限内の引き渡しが不可能になつた」として、8月5日に住友重機械工業に対して、契約解除を通告しました。これを受け、焼却灰溶融施設稼働中止を求めれる市民の会の代表者の方々が、8月16日に市長に対して溶融施設からの完全撤退を申し入れされました。

「技術的に最も優れているとされた住友重工の技術が不十分で、溶融炉を完成できなかつた。撤退するしかないのではないか?」

申し入れに同行した  
西野さち子市議(左端)  
だお市議(左端)  
から2人目)と北山た

「京都市が溶融施設に使つた税金175億円全てを住友から返還してもらいうべき」「市長は市民に謝罪と経過報告をすべき」と「市民の会」の皆さんのが質問が相次ぎました。

京都市は、「申し入れの内容を参考に、ごみ減と両輪で進めたい」「安全な技術革新もあると思うので、溶融も含めて今後検討する」と言い訳の答弁に終始。「市民新聞で広く市民の皆さんにお知らせする予定」など約1時間にわたる話し合いが行われました。

ムに対して神を信じる者も信じない者も手を携えて抵抗しよう」とナチスに抵抗を呼びかけた人がいたが、今、我々も手を携えて憲法の改悪に抵抗するときです。と結ばれました。

その後の交流では、各地の9条の会や個人の活動の様子、若い宗教者の方の平和への思いなどが話されて、重みのある有意義な集会でした。西野市議も世話人として参加しました。



## 「9条の会・醍醐 7周年記念のつどい」

醍醐地域に9条の会が発足して7年目を迎えます。醍醐交流会館で集いが開かれました。

平和を願つての歌、紙芝居、創作演舞の後は、「憲法と人づくり」と題して日本キリスト教団牧師・京滋キリスト教平和の会代表の榎本栄次さんの講演がありました。

榎本さんは、「1968年に北海道の長沼事件に関わった。1973年9月7日に自衛隊は憲法違反との判決が出され、40周年になる」「牧場の上を急降下したり低空飛行を繰り返す自衛隊の訓練で、牛が流産を繰り返したため、やむなく通信線を切断して訴えら

## 倉林明子 参院議員 も参加! 議会報告会のお知らせ

■9月14日(土) 午後7時30分~  
■醍醐交流会館

みなさんと力をあわせて、焼却灰溶融施設の契約解除で年間20億円の税金のむだ使いをストップさせました。倉林明子参議院議員も参加して報告会を開催します。ぜひ、ご参加ください。敬老乗車証の改悪や消費税増税をストップさせる運動を大きく広げましょう。

れた恵庭事件の野崎さんと交流で「良い牛をつくることは平和をつくる事」と聞かされました。その時に、人の役に立つ教会をつぶさうと思つた」と話されました。